

「ヒヤリ・ハット」体験事例

集計期間：平成21年7月～8月

1 収集運搬

① 事故の型：転落、転倒

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	現場	積み込み作業中	荷台に載るとき、足が滑り、転落しそうになった	足下に注意し、天候の悪いときには特に注意する	事故を未然に防ぐことができた
2	施設内	コンテナ車の荷に一人で乗り、シート掛けをしているとき	足を滑らせ落下しそうになった	シート掛けは二人で行い、足下には十分注意する	作業時間も短くなり、安全に作業ができるようになった
3	現場	バックホーでアスファルト撤去作業中	雨天時、バックホーから降りる際、キャタピラーの上で滑り、転倒しそうになった	天候に関係なく、降りる際は、キャタピラーの上をしっかり足をつけて降りるようにした	雨天に関係なく、足下に注意することにより、事故を防げるようになった
4	取引先現場	廃材(ベニヤ板)を手作業で4tコンテナに積み込み作業中	ベニヤ板は薄く幅も狭いため足下がよく滑る状態であり、過去にも何度も転倒の経験あり	急がず足下をしっかりと踏み張って作業中集中力を維持する 積み込み作業後半には、コンテナの上部の作業は相当の高さ(地上約1.5m)となり、その上部での転倒は転落の可能性もあり、特に細心の注意が必要	転倒は少なくなったように思う
5	現場	荷物の積み卸し時	足元を見ていなかったため、つまづき転倒しそうになった	安全確認	

② 事故の型：衝突、接触

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	現場	コンテナ交換中	コンテナの交換作業中、後ろから人が近づき、人に当たりそうになった	コンテナに交換作業中は、周りに注意する	

③ 事故の型：飛来、落下

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	バックホーで鉄くずをコンテナに積み込んでいるとき	鉄くずを機械式フォークで挟んでいるとき、鉄くずがパネのようになり飛んだ	作業開始に当たり、周囲に作業員がいないか確認する 作業員がいるときは、声を掛け安全を確認してから作業を行う	
2	現場	クレーンで鉄板の吊り上げ作業中	鉄板の穴に直接掛けていたフックがはずれ、鉄板が落下	鉄板の穴にワイヤーを通し、ワイヤーにフックを掛けるようにする	

④ 事故の型：挟まれ、巻き込まれ

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	職場内	パッカー車に段ボールの積載中	段ボールの結束紐を取り除こうとして、指をパッカー車に巻き込まれそうになった	作業時には、十分な確認するよう心掛ける	安全に作業ができています

⑥ 事故の型：交通事故

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	和歌山市内の交差点内(片側2車線)	自社トラック(2t車)で交差点内左側車線を走行中	交差点内の道路が左カーブとなっており、右側車線を走行していた大型トラックが左側車線まで割り込んできたため、大型トラックに巻き込まれそうになった	当交差点では、右側車線を走行するよう心掛ける 大型車が右側車線を走行しているときは左側車線には入らない 大型車が走行しているときは大型車に先を譲り走行する	気持ちにゆとりができ、危険な体験はしなくなった
2	町内一般道路	パッカー車に廃棄物を積み込み運転席に戻ろうとしたとき	反対側からきた車両に接触しそうになった	車の陰からでるときは、安全を十分確認してから行動する	
3	貝塚市内	現場からの帰り、自動車の運転中	前の車に追突しそうになった	運転中は、気を抜かないようにする	一段と気を引き締めて運転するようになった

4	国道26号	自動車の運転中	前の車が急ブレーキを掛けたため、追突しそうになった	車間距離を十分にとり、前方をよく見る	前の車が急ブレーキをかけても十分に車間距離をとっていると、余裕を持ってブレーキが踏めて安全
5	坂道	軽4ダンプに土砂を積み、道具を積んでいるとき	軽4ダンプが動き出した	タイヤに歯止めをする チェンジをローギアにする	事故を未然に防げた
6	一般道路	走行中	ペットボトルが、自動車の床を転がりクラッチペダルと床の間に挟まり、踏みしろが無くなってエンストを起こしかけた	車内清掃を行った	車内がきれいになり、足下に不安が無くなった

⑦ 事故の型：その他

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	一般道路	走行中	バックから積み荷の軽い上やビニールが飛び出した	荷物を積んだときは、ロープやシートを掛ける	
2	自社施設内	資源ゴミ選別中	ビンの割れたものがあり、怪我をしそうになった	廃棄物にはいろいろな物が入っているので、慌てずに中をよく確認して作業する	
3	田辺市内未舗装駐車場	モバイルバックでの汚泥吸引回収作業中	1日作業で午前中は晴天であったが、午後ゲリラ豪雨となり、未舗装の足場がぬかるみ、吸引した汚泥の重量と相まってスタックしてしまったが、早期に気づいたため、自力で脱出できた	事前に下見をし、未舗装地での作業では、特に雨期の場合は鉄板による養生を想定しておく	対策を徹底することにより、以後同様の事故には至っていない

2 中間処理

① 事故の型：転落、転倒

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	自社アスファルトプラント	10tダンプトラックに保温シートをかけているとき	アスファルト付着防止のため軽油を散布するが、その際に靴の裏にも付着し、はしごを昇降する際滑り落ちそうになる	昇降用はしごに滑り止めをつける 滑るかもしれないと意識し行動する	滑り止めのはしごを使用し、滑らなくなったが、もしかしたら滑るかもしれないと意識して行動するようになり、危険予知ができるようになった
2	自社工場内	フォークリフトによる荷下ろし時	荷物がフォークリフトの爪から落ちそうになったため、フォークリフトから飛び降り、対応した。その際、転倒しそうになり、足を怪我しそうになった	フォークリフトによる荷物の運搬、積み下ろしの時、危険予知ができるよう社内の安全委員会で協議 荷物の無理な積み方を無くし、職場内で従業員がお互いに危険な状態を注意し合うこととし、また運搬中は、余裕を持って、安全運転に心掛けることとした	リフトでの危険な状況は減少してきた
3	自社工場内	パソコン分解作業時	パソコンを分解した際に生じたネジが床に転がり、そこに足が乗り、滑って転倒しそうになった	ある程度の作業ごとに清掃を行うことにより、ネジの散乱を防止した	転倒の危険が軽減された
4	自社ヤード内	人や重機等で移動作業中	荷物を整理・整頓せず置いていたため、荷物につまづき転倒しそうになった	荷物を整理・整頓し、場所を決めておくように改善し、通路を確保した	荷物へのつまづきが少なくなり、重機の動きを気にしなくても移動ができるようになった。また、移動時間が、短時間にスムーズに行えるようになった
5	自社工場内	フォークリフトで荷物を運ぶとき	フォークリフトから飛び降り、足首をひねりそうになった	フォークリフトから降りるときは、飛び降りずに、ステップを使って降りるようにする	フォークリフトや大型トラックから降りるときは、ステップなどを使い、安全に降りるようになった
6	自社工場内木くずプラント	木くずプラントの稼働中	トラブル発止時に、慌てて制御盤のところに駆けつけようとしたときに足下にあった木くずに乗ってしまい足首をひねりそうになった	トラブル発生時も落ち着いて行動する 通路の足下はきれいに掃除してつまづかないようにする	トラブル発生時に慌てることなく、迅速に対応できるようになった 工場内の足下の危険所などところを改善することで事故が減った 朝夕、持ち場を確認して整理整頓を行い、以前より

きれいになった

② 事故の型：衝突、接触

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	自社施設内	荷物の積み込み時	フォークリフトがバックしてきて、後ろにいたためぶつかりそうになった	重機類の運転者の死角に入らないようにする 運転者は、周囲に人がいないか確認する	運転者がスムーズに動けるようになった
2	自社施設内	材料の積み分け作業中	ホイールドーダーと人が接触しそうになった	重機の運転者は、前・後方、左右確認の徹底	車内のミラー、目視を必要以上にするようになった
3	自社施設内	廃棄物の選別後、バックホーでの回収時	バックホーで廃棄物回収時、引き込み掛けたところ手元と接触し掛けた	手元に重機の確認 重機は、一呼吸おき、手元の動きを確認	手元を確認するようになり、重機とある程度間隔をとるようになった
4	自社工場周囲道路	工場周辺の清掃時	下を見ながら地面のゴミを掃き進んでいたら、壁際に駐車していたコンテナ車のアームと衝突しそうになった	清掃を行うとき、下ばかりでなく、常に周囲の状況にも目を配り、危険がないかを注意する コンテナ車を駐車させるときはアームをおろした状態で止めないようにする	清掃時に、足下だけでなく、周囲を見渡すことで安全に清掃活動をすることができ、また、万一、危険があってもすぐに察知して回避することができるようになった
5	工場内事務所	出勤時事務所に入ろうとしたとき	事務所の扉を開けて入ろうとしたとき、中から扉が開いて、扉に顔をぶつけそうになった	中から人がでてこないか、外から人が入ってこないかを確認してから扉を開けるようにする	同じような事故が起こらなくなった
6	作業現場	コンクリート殻の小割時	機械の旋回範囲内に人がいた	旋回時安全確認の上、クラクション等で旋回することを周囲に知らせる 機械のエンジンが掛かっているときは、できるだけ近づかない	ヒヤリとすることが少なくなった
7	自社工場内	焼却炉への廃棄物の投入作業時	廃棄物を入れた鋼板製の箱をフォークリフトで移動した際、フォークリフト後退時その背後の他の従業員に接触しそうになった	フォークリフト後退前に十分後方確認を行う フォークリフト運転中は、運転者以外の周囲の従業員もフォークリフトの動向を注視し、お互いに声を掛け合う	運転者並びに他の作業する従業員たちが確認喚呼するように改善した効果は大である

③ 事故の型：飛来、落下

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	自社工場内	パワーショベルで廃棄物の運搬中	パワーショベルでパイプを踏みつけたとき、パイプが飛んできて、当たりかけた	パワーショベルから降りて、通り道に異物がないかを確認する	対策後、飛来が無くなった

3 最終処分

No.	どこで	何をしているとき	何がどうした、どうなった	その後の対策	対策結果
1	処分場内	廃棄物の搬入車両が、荷下ろし位置に車をつけようと後進しているとき	搬入場内搬入道路の路肩によりすぎ脱輪した	搬入道路を可能な限り拡幅し、かつ路肩を明確にした	カラーコーンを設置、搬入道路を拡幅した